

たか はし ひで のり

高橋秀典県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

台風15号の農業被害

農家に寄り添い再建に支援を!

9月県議会一般質問に初登壇



9月議会の本会議場に初登壇した高橋県議

あいさつ

このたびの台風15号による被害は、県政史上まれにみる甚大なものとなりました。被害に遭われたすべての県民の皆様に対し、心よりお見舞い申し上げます。

4月の県議選で旭市選挙区から初当選を果たした自民党の新人、高橋秀典(たかはし・ひでのり)県議は、10月3日の県議会本会議場での9月定例議会の一般質問に初めて登壇しました。高橋県議は、台風15号による農業被害を真っ先に取り上げ、被災した農家の皆さんの心に寄り添い、迅速な支援に当たるよう森田知事ら県執行部に呼びかけました。また、大規模災害で被災した市町村への人的支援についても取り上げ、県として市町村職員が初期対応に専念できるように、災害が予見できる段階から県職員を派遣するなどの災害支援を要望しました。高橋県議の主な質疑を特集しました。

1日も早い復旧・復興を心から祈念するとともに、適切な支援が迅速かつ確実に実施されるよう、関係各位の皆様のご尽力を切に願います。県民一人ひとりがこの難局を乗り越えてまいります。

高橋議員 今回の台風15号によって被災した農家が、安心して経営再建を進められるよう、農家の皆さんに寄り添い、経営再建に向けての不安を取り除く必要があるのではないかと考えます。そこで伺います。台風15号で被害を受けた農業者からの相談に対し、県はどのような対応しているのか。

森田知事 県では、県内10カ所の農業事務所相談窓口を設置し、被災された農業者からのさまざまな相談に応じるとともに、事務所職員が被災地を巡回し、農業者から直接、要望を伺い、被害を受けた作物を早期に回復させるための技術指導や経営再建に向けた助言などを行っています。

また、経営再建に向けた金融や労務などの専門的な相談に対しては、県と千葉県園芸協会など関係団体で運営する「ちば農業経営相談所」において、中小企業診断士等の専門家の派遣や、研修会、経営相談会の開催により対応してまいります。

要望

県内において農林水産業全般にわたって被害が出ており、ビルハウスなどの施設園芸においても甚大な被害が報告されています。

このたびの「強い農業・担い手づくり総合支援交付

高橋議員 豚コレラの発生時に備えた事前の準備は、どうなっているのか。

森田知事 豚コレラやアフリカ豚コレラが発生した場合、ウイルスの封じ込めのために、迅速な殺処分や農場内の消毒を、また、拡散防止のために豚の移動制限や

高橋議員 豚子連絡道路の重要性、完成時の効果について、県としてどのように考えているのか。

県土整備部長 豚子連絡道路は圏央道など幹線道路ネットワークの整備効果を、山武、東総地域へ波及させる重要な道路です。

この道路の開通により、銚子市や旭市方面と圏央道とのアクセスが向上し、農林水産業や商工観光業等の地域経済の活性化、防災力の向上、救急医療体制の強化が図られるとともに、国道126号の交通混雑の緩

高橋議員 関係車両の消毒ポイントの設置を行います。

県では、獣医師会などと協定を締結し、殺処分を行う獣医師や、処分した豚を運ぶ重機オペレーター、消毒ポイントの運営要員など、必要な人員を確保することも、防護服や消毒液など必要な物資を、いつでも放出できるように確保してまいります。

要望

現在、調査区間となっており、匝瑳・旭間もぜひ早期に事業化されるようお願いいたします。令和5年度の横芝光・匝瑳間の完成を待たずに、できれば前倒しで事業化されますよう、関係各機関連携の上で強力に推進していただくよう要望します。

高橋議員 県道銚子海上線の清滝バイパスの進捗状況を教えてください。

引き続き、地元のご協力をいただきながら、令和2年度の供用を目指し、事業を推進してまいります。

要望

豚コレラ対策では、養豚産業を守るために、県内のワクチン接種体制を整えていただきたい。また、アフリカ豚コレラの水際対策について、国へしっかりと要望してほしい。

高橋議員 県道銚子海上線の清滝バイパスの進捗状況を教えてください。

引き続き、地元のご協力をいただきながら、令和2年度の供用を目指し、事業を推進してまいります。

高橋議員 県道銚子海上線は、旭市岩井から清滝までの2.4キロ区間について、トンネルを含むバイパスの整備を進めています。これまでに用地取得を完了し、銚子市側の道路改良やトンネルに接続する橋梁などの工事を実施しており、今年度、トンネルの掘削工事に着手しました。

高橋議員 関係車両の消毒ポイントの設置を行います。

県では、獣医師会などと協定を締結し、殺処分を行う獣医師や、処分した豚を運ぶ重機オペレーター、消毒ポイントの運営要員など、必要な人員を確保することも、防護服や消毒液など必要な物資を、いつでも放出できるように確保してまいります。

● 県政と旭市に関するご意見をお寄せください。

高橋秀典 県議事務所

〒289-2516 旭市口-1551-4
TEL.0479-62-6896 FAX.0479-62-6897

Eメール: mail:keimeikan@gmail.com

東総地域の課題解決に向け

被災地への人的支援を！

職員チームの派遣

高橋議員 次に防災について伺います。今回の台風15号に関し、被災市町村からの人的支援要請に対して、県内市町村とも連携しながら、現時点では、職員を派遣するなどの対応をさせていただいていると伺っています。

国の「被災市区町村応援職員確保システム」とは、どのようなものか。また、システムに基づく県内市町村への支援の状況はどうか。

具体的には、都道府県が人的支援ニーズに十分応えることが困難な場合、国が中心となり、支援する都道府県や政令指定都市を決定し、職員やマネジメントを支援する職員チームを派遣するものです。

県内市町村への支援の状況ですが、10月2日現在、8市町村に対し、罹災証明書交付業務などの支援のため、延べ1951名が9市町村に対し、災害マネジメント支援のため、9チームが派遣されています。

地域医療への支援策

高橋議員 香取海浜地域の医療について伺います。県として医師の能力向上について、どのように支援を行っているのか。

保健医療担当部長 県では、千葉大学医学部付属病院内に「千葉県医師キャリアアップ・就職支援センター」を設置し、研修医等を対象とした研修会や、多様なシミュレータ等を用いた技術研修を開催するなど、医師のスキルアップを支援しています。



自席から再質問と要望を語る高橋県議

防災危機管理部長 同システムは、大規模災害発生時に、被災した市区町村における罹災証明書の交付などの災害対応業務の増加や、災害マネジメント機能の低下に対する全国二元的な人的支援の仕組みです。

要望 今後に備える上でも、災害の最前線となる市町村の業務継続能力の維持は大きな課題です。被災市町村からの人的支援要

請に対して、当システムの活用を含めて、今後もしっかりと対応をお願いします。

また、災害時には市町村が初期対応に専念できるよう、発災時あるいは、それ

高橋議員 県からの即応職員を派遣していただきたいという声があります。こうしたことも総合的に見直していただければと思います。

旭中央病院 設置された「地域医療支援センター」が院外も含め、広く地域の医療人材育成のために貢献していること

再生可能エネルギー 高橋議員 県では再生可能エネルギーの導入促進に向け、どのような計画・目標を持っているのか。

環境生活部長 再生可能エネルギーは、温室効果ガスを排出しないエネルギー源であり、地球温暖化対策の推進のため、積極的に活用していくことが必要です。また、エネルギーの分散確保、地域経済の活性化などを図る上でも重要と考えています。

このため、本年3月に策定した第3次千葉環境基本計画では、「再生可能エネルギーの活用」を主要施策に位置づけています。

県内には、本年3月時点

銚子沖の洋上風力発電

高橋議員 銚子市沖の洋上風力発電について、今後、事業化に向けてどのようなプロセスを進めていくのか。また、その中で県はどのような役割を持つのか。

商工労働部長 今後は、国、県、地元市、漁業関係者等で構成される「協議会」で、促進地域の指定に向けた調整や、発電事業者の公募の際の留意点等について協議を行うと考えています。

協議会は、3回程度開催される予定であり、参加者される予定であり、参加者

県立東部図書館の今後

高橋議員 次に東総地域における県保有の資産の状況と今後について伺います。

まずは図書館についてです。県立図書館を統合する目的は何か。また、県立東部図書館は、今後どうしていくのか。

教育長 本年8月に「新千葉県立図書館等複合施設基本計画」を策定しました。県立図書館3館を1館に集約し、県文書館との複合化を図ることにより、文化情報資源を1カ所に集約させ、「ワンストップでの利用者サービスの向上」や「調査相談支援機能の充実」「資料のデジタル化等による市町村立図書館との連携強化」などを目指すこと

として考えています。

これらにより、利用者が最寄りの市町村立図書館に立ち寄ることで、必要とする資料や情報をこれまで以上に、より広範囲かつ短期間に取り寄せ、活用できるようにするなど、図書館ネットワークの強化を図ることが可能になります。

また、1館集約後の東部図書館等の有効活用については、所在市との協議をしっかりと進めてまいります。

要望 今後、もし移管ということになれば、十分な協議を行い、市に過度の負担が生じることのないよう要望します。

高齢運転者の事故防止

高橋議員 県では高齢運転者の運転操作ミスによる事故防止に向け、具体的などのような広報啓発を行っているのか。

環境生活部長 県では、判断力や視力などの心身機能が低下する傾向にある高齢運転者向けに、「車間距離を十分に取る」と「交差点では安全確認を忘れないこと」などの安全

運転のためのポイントや、認知機能の低下に関するチェックリストなどを盛り込んだチラシを作成し、各種イベント等で配布しています。

また、運転免許証の自主返納や、返納者に対する支援措置についても周知を行っているところであり、今後とも引き続き、市町村や県警をはじめとする関係機関と連携し、高齢運転者の運転ミスによる交通事故を防止するため、さまざまな機会をとらえて広報啓発活動を行うと考えています。

要望 今後も引き続き、広報啓発を促進し、不幸な事故を未然に防ぐよう尽力してもらいたい。最近では、運転操作ミスを未然に防止する装置がついている車が販売されていますが、現在使用している車に後付けができる踏み間違い防止装置の補助について、ぜひお願いしたい。